

竜串 見残し

TATSUKUSHI MINOKOSHI



土佐清水市街から西へ約8km。千尋岬の西側に広がる海岸一帯は波や風の浸蝕作用で奇岩の連なる竜串・見残し海岸である。また、この海には造礁サンゴや熱帯魚が棲息し、昭和45年に日本ではじめて海中公園に指定されている。



竜串海岸は3000～8000年前の砂岩からなる浸食台地で怪岩奇岩の景勝地として有名。特に、丸みを帯びた岩が何本もまっすぐに伸びる大竹小竹は代表的な景観。他にも蛙の千匹連れや千畳敷、しぼり幕などの名所が数多くある。



まるで異世界の景観 見残し

千尋岬西側の先端に近いところにある海岸一帯は、竜串周辺を訪れた弘法大師が、この景勝地を見落としていったことから「見残し」の名がついたと言われている。この地層も竜串と同じ砂岩や泥岩が、長い年月を経て浸蝕され、岩肌に自然が織りなす不可思議な造形美を見せている。その奇観の中に立てば、まるで知らない惑星に降り立ったような気分がさせてくれる。



巨大な水槽で泳ぐ魚たち 足摺海洋館



「土佐の海と黒潮の魚たち」をテーマに、足摺半島周辺に棲息する魚類を中心に、約150種、3千点を飼育展示。特に圧巻は直径9m、高さ6mの海洋水槽。スギヤカンパチ、ロウニンアジなどの大型魚をはじめ、約50種類の魚たちが泳ぎ回る。

TEL 0880-85-0635



一年中ダイブOK スキューバダイビング

サンゴ礁の中を色とりどりの魚たちが群れ泳ぐ姿を間近に見るならスキューバダイビングがおすすめ。海中公園になっている竜串の海は足摺岬と叶崎に挟まれ、台風や時化の時以外は潜ることができる。12～3月の冬場でも、水温は16～18度と高く、透明度が安定するので、一年を通じて全国から数多くのダイバーが訪れる。



手軽に海中散歩 足摺海底館

竜串海岸の西側、海の上にすくと立つ白と赤の建物。普段着のまま、手軽に竜串の海中を見ることが出来る。建物に入って、螺旋階段を降りた部屋に丸い小窓が開いていて、外は海中になっている。サンゴ礁が連なる中を、色とりどりの熱帯魚が泳ぐ様子は、まるで竜宮城を訪れたような錯覚におちいってしまう。

TEL 0880-85-0201



あらゆる貝類を展示 海のギャラリー

日本三宝と称されるテラマチタカラ貝、オトメダカラ、日本タカラをはじめとして、大きいもので1m以上、小さなもので1mm以下のものまで約3千種8万点を展示する貝類展示館。

TEL 0880-85-0137

明治の面影を今に残す 叶崎灯台

国道321号を竜串から大月町へ向かう途中に、切り立った断崖の上に白亜の灯台が見える。この灯台は明治44年に建設され、今も当時の名残を残す現役の灯台である。



竜串海中公園の グラスボート

竜串海域公園のサンゴ礁や熱帯魚を手軽に見たいのならグラスボートがおすすめ。ボートには2種類あり、船底に開いたガラス窓から海底を覗くタイプと、見学する部屋が船の底にあり、横に開いたガラス窓から海の様子を観察できるタイプがある。



グラスボートの所要時間は30～50分。グラスボートで見残し海岸に渡り、奇岩見学ができるコースもある。竜串では現在、2社がグラスボートを運航しているので、時間やコース、乗り場を確認して乗船しよう。



たつし海中観光 TEL 0880-85-1155
竜串観光汽船 TEL 0880-85-0037